

<福岡県の環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」（※1）では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴きし、今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

県の環境施策のマスタープランである環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

（環境部 環境政策課）

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、すべての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っていますが、6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=379 選択は1つのみ)

知らない	71.5%	(271名)
知っている	28.5%	(108名)

無回答 0.0% (0名)

<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=379 複数回答可 回答件数=1,641)

ごみが正しく管理・処理されていること	49.1%	186名
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	48.8%	185名
水が汚染されていないこと	39.1%	148名
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	37.7%	143名
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	34.8%	132名
住まいの周りの静かさ	29.6%	112名
空気や空が汚染されていないこと	25.9%	98名
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	21.9%	83名
家庭や会社で、環境配慮型製品(※4)が選べること	21.4%	81名
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	20.1%	76名
環境関連の技術や産業(※3)が向上・発展していること	20.8%	79名
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	19.5%	74名
様々な産業において、環境に配慮した取組(※2)が行われていること	17.4%	66名
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	15.6%	59名
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	15.3%	58名
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	9.5%	36名
環境について満足しているところはない	5.0%	19名
その他	1.6%	6名

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- ・ 夜に可燃ごみを収集してくださるところ。
- ・ ビニール袋削減のために、レジ袋が有料になったこと

※2 環境配慮型製品とは

環境負荷の低減を考慮した物品等。エコマークやグリーンマーク、再生紙使用マークのような環境ラベルが目印。

※3 環境関連産業とは

リサイクル関連産業だけではなく、太陽光発電等の自然エネルギー関連産業などの環境負荷の低減や環境保全につながる様々な産業のこと。

※4 様々な産業における環境に配慮した取組とは

様々な産業が行う事業活動の中で、環境負荷を低減するための取組。例えば、減農薬・減化学肥料栽培などの環境に配慮した農業や生態系に配慮した資源管理型漁業など。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(n=379 複数回答可 回答件数=1,624)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	51.5%	195名
ごみが正しく管理・処理されていること	39.1%	148名
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	37.5%	142名
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	37.5%	142名
環境関連の技術や産業（※3）が向上・発展していること	28.8%	109名
様々な産業において、環境に配慮した取組（※2）が行われていること	28.0%	106名
家庭や会社で、環境配慮型製品（※4）が選べること	26.9%	102名
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	25.1%	95名
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	23.2%	88名
水が汚染されていないこと	23.0%	87名
空気や空が汚染されていないこと	19.5%	74名
地域（自治会、サークル、NPOなど）で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	19.0%	72名
住まいの周りの静かさ	16.4%	62名
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	15.3%	58名
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	11.9%	45名
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	10.0%	38名
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	8.2%	31名
環境についてよくなったと感じるところはない	6.1%	23名
その他	1.8%	7名

無回答 0.0% (0名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 食品ロスに目を向けた取り組みが活発になったこと。フードバンクが機能し、子ども食堂や必要とする団体などにいきわたるようになってきました。ひとり親家庭にお寺のお供え物が届けられたりしているそうで食品ロスの考えからだと思います。消費期限、賞味期限の違いを理解することを広めることも大事ではないでしょうか。
- ・ リサイクルショップが増えて不要なものをゴミとして捨てるのではなく必要な人に活用してもらえる機会が増えた。
- ・ 皮肉なことですがコロナ禍による経済活動停止により空気汚染が少なく今年はPM2.5値が低かった。
- ・ 10年前に比べ環境は徐々に悪化しているが、40年前に比べれば格段に良い。

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満と感じるのはどのようなところですか。

(n=379 選択は4つまで 回答件数=1,035)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	40.1%	152名
空気や空が汚染されていること	34.6%	131名
ごみが正しく管理・処理されていないこと	24.5%	93名
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	20.1%	76名
水が汚染されていること	19.8%	75名
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	15.3%	58名
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	13.5%	51名
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	13.5%	51名
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	12.4%	47名
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	11.9%	45名
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	11.6%	44名
環境関連の技術や産業（※3）が向上・発展していないこと	9.5%	36名
環境について、不安や不満と感ずるところはない	9.5%	36名
地域（自治会、サークル、NPOなど）で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	9.2%	35名
様々な産業において、環境に配慮した取組（※2）が行われていないこと	8.4%	32名
身近な自然（海、山、雑木林、川、野鳥など）と触れ合えないこと	7.9%	30名
その他	7.7%	29名
家庭や会社で、環境配慮型製品（※4）を選べないこと	3.7%	14名

無回答 0.0% (0名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 天候の不順、豪雨災害は自然環境の悪化からなのかわからないが、頻繁に繰り返されることに不安を感じる。
- ・ 地球温暖化によって水害被害が相次いで起こっています。今後も続くであろう被害を最小限に食い止めるための情報を環境目線からもっと発信してほしい。
- ・ エネルギー関係は、再生エネルギー（特に太陽光）の一点主張で、コストは個人に負担させるということには賛同できない。
- ・ 本来やるべき省エネルギー技術・省エネルギー生活といった本質的取り組みがなおざりになっている
- ・ 環境を守るため、プラスチックゴミの削減のため袋の有料化が始まったがコロナの感染リスクや袋以外のプラスチック（ストロー）などまだまだ使われたるものが多いのに袋だけで環境が変わるとは思えません。
- ・ レジ袋有料化は意味があるのかなと感じています。
- ・ 今問題のマイクロプラスチックについて、レジ袋が注目されていますが、それだけを削減したからと言って解決するものではないし、人の生活そのものの見直し、また、正しいごみ処理

の仕方の啓発などが必要だと思います。

- ・ 資源ゴミを集めてくれる所（牛乳パックやペットボトル、キャップなど）が人口に対して少ないと感じる。
- ・ 資源ごみの分別が少ないので本当に再利用されているのか？
- ・ 飲料の入っていた缶、弁当のポリ容器などが、放置されていることをよく見ます。たばこの吸い殻のポイ捨ては、福岡ではあまり見ませんが、このような放置は若年層や外国からの観光客が多いような印象です。学校教育や啓蒙が必要です。
- ・ ポイ捨てるモラルの低い人が一定数いること。
- ・ 公園や道路に平気でゴミを捨てる人がいる。タバコのポイ捨てが多い。
- ・ 周知かもしれないが、マナーの欠如であり、大型ショッピングセンター、コンビニなどの駐車場に放置ごみ（買い物用ビニール、空き缶等）が目立つ。
- ・ 日本では食料が一年に 650 万トンも廃棄されている。コンビニやスーパー飲食店などや、家庭からもである。貧しく飢餓に苦しんでいる国がある中で、罰当たりの状態である。異常に短い賞味期限、消費期限を改定しないと、今後食糧危機の時代になれば日本人は生き残れなくなる。
- ・ ゴミ袋代が高い。
- ・ 山や空き地に大規模な太陽光パネルを設置して、森林伐採していること、景観が悪くなっていることが不満です。
- ・ 飼い犬の糞を取らずに放置しているのをよく見る。
- ・ 近所に大規模養豚場があるが、悪臭が発生し、排水も汚い水を排出している。
- ・ 近隣に消防署や救急病院があるため、昼夜を問わず緊急車両のサイレンが鳴り響いている。また、都市高速道路の遮音壁の設置がなされていないため騒音が気になる。
- ・ 東日本大震災後の福島原発の後、放射能汚染はまだ残っています。
- ・ 田畑や個人の敷地内で、野焼きや草木を焼く人が多いこと。

<5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見（抜粋）

<低炭素社会>

- ・ 本質的な大雨対策が遅れている。河川の修復等の後手対策ばかりをやっている。森林保護、ダムの水管理、個人の家からの雨水対策（吸水性の庭の設置、雨水の一次貯め）が遅れている。
- ・ もっと自然エネルギーを活用すること考えるべきだと思います。
- ・ 最近、大雨の被害が多発しているので、河川の環境改善に力を入れてほしい。
- ・ 再生可能エネルギーを推進するのであれば、一方で原子力発電を支持しない姿勢を打ち出してほしいです。環境に配慮しない企業には税金を高くするなど、ドイツのように経済的に考えて環境に配慮した方が得をするようなやり方に変えていってほしいです。個人の消費活動や環境活動はもちろん大切ですが、企業のそれは桁違いですので、県レベルの行政が取り組んでほしいです。

<循環型社会>

- ・ 自宅近くのスーパーや、資源ゴミ回収施設で、資源ゴミの受け入れ体制が整っていてすごく助かっています。それと同時に、分別ができてない人、分別していても、プラスチック資源が汚れたまま出されること（汚れがついていたら燃えるゴミ）が多く、驚いています。
- ・ そこらじゅうにマスクの廃棄が多い。回収の仕組みづくりを望みます。
- ・ 福岡県には豊かな海岸線が多くありますが、ゴミが散乱しているなど自然が必ずしも生かされていない気がします。定期的な地域の清掃活動などが活発になるような行政の取組を期待します。
- ・ 省エネが進んだ以外環境が改善したとは 全然思いません。大牟田市で言えば 今だに決まりを守らない ごみ捨てが多い。
- ・ ごみ問題です。道路を歩くと、必ず、ごみの散乱場面を目にしております。ごみを出さないようにすることが必要ですから、何か取り組みを行うべき策はありませんでしょうか？
- ・ 福岡県はごみの廃棄が多いと思います。道路にはお菓子の袋やファストフード店の袋などが多いです、何とか、こうしたごみが無くなるように、各人の意識が大切ですが、道徳教育が必要でしょう。
- ・ もっとリサイクル率を上げる。
- ・ 不法投棄がほんとに多いと思う。山に行けばいくほど、車やバイク、タイヤや、大型の物は冷蔵庫、TVなど見かけた。
- ・ 他県に住んでいた時は、プラスチックゴミも分別するなど福岡県よりももう少し細かく分別しました。福岡に限らずなのですが、きちんとゴミを分別しておらず回収されていないゴミ袋の放置も時々みるので、そういった点を再度個人で細かく確認できたら更にいいのかなと思います。
- ・ 海洋汚染の原因となっているとしてレジ袋が7月から全国的に有料になったが、道ばたに捨てられたレジ袋が海に飛ばされて、それが海洋汚染の原因となっているので、ゴミを道ばたに捨てる行為をやめさせなければ解決されないと思う。ゴミを道ばたに捨てることをやめさせるための広報活動をしてほしい。
- ・ ごみの分別が雑なのが気になります。プラスチックごみもリサイクルできるのに、「燃えるゴミ」として処理するのは良くないと思います。
- ・ 海辺がとても汚い事が気になります。せっかくビーチが沢山あるのにどこも綺麗とは言えないと思います。ゴミが多いのでより綺麗になるように市民も県としても更に取り組むを行えたらいいと思います。
- ・ 昨年だったか、火災を起こした産廃はその後適切に再設備されたでしょうか？
- ・ 環境がプラ汚染される原因の中で最大のもの「ポイ捨て」と思う。ポリバッグを使用しても適切に処理されれば大きな問題にならないのではないのか。子供のころからしっかり教育してほしい。

<自然共生社会>

- ・ 2年ほど石川県に住んでいたのですが、自然が多く、公園もたくさんあり、福岡と比べて動物や昆虫など普通に見ることができビックリしました。30年前の福岡でも見られていた虫や植物などもあり、福岡は都市化は進んだけど、自然は失ったと思いました。自然も強みである部分はあると思

うので、ある程度のものは残しておいてほしいと思いました。

- ・ すぐ近くの高台に竹林が沢山あり、10年前と比べ放置して荒れ放題になっている。大雨の時には被害が出そうで怖い。こういうところが県内でも多く発生していると思う。放置しているところを何とかできないものかと考える。
- ・ 私の生まれ育ち、子育て時代、老後と人生の大半を過ごしている愛着ある福岡県です。この環境の豊かさは、ぜひ未来の子供達の為に残して頂きたいです。
- ・ 福岡県の自然についてですが、昨今豪雨災害が相次ぐ中で福岡県の自然も崖崩れなど甚大な被害を受けているかと思います。そんな中復旧作業等に尽力されている方々には感謝しかありません。ただその一方で、道路などの復旧、整備工事にて安易にコンクリート製品をよく使われているように感じます。もちろん減災の目的からそうのようにされていると思いますが、今まで緑があった箇所がどんどん無くなり、福岡の豊かな緑が損なわれているように感じてしまいます。そのようなことが無いように緑も残しつつ街の整備を行っていただければ嬉しく思います。
- ・ せっかく近くに海が多いのに綺麗な海がないのが悲しい。
- ・ 都市部は多くのものが揃っていて住みやすい。少し郊外に出ればたくさんの自然が感じられる。それぞれの良いところを伸ばしたり残したりして欲しい。

<健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 福岡県の環境問題の最大のテーマは、空気汚染だと思います。原因は、黄砂、PM2.5と大陸由来のものが大きいので、根本的な解決はもちろん難しいと思いますが、福岡県には大きく影響を受けている県だからこそ、取れる対策を是非期待したい。大気汚染の研究分野の取り組みやマスク等の開発など
- ・ 大気汚染については一地域で解決するものではありませんが、福岡においてはPM2.5は大きな問題ではないでしょうか。森林については、環境税などを当てて取り組み強化されていますが、昨今の豪雨災害は森林の機能低下も要因にあるのではないのでしょうか。所有者不明の森林・竹林の増加も気になります。
- ・ 全国的に見ても汚染の少ない環境は誇れるものだと思う
- ・ まだ県南では、紙工場・養豚業・肥え汲み業による川への垂れ流しが行われており県からの市・郡に対する啓発をお願いします。
- ・ 「健康で快適に暮らせる生活環境の形成」について、他県に住んでいた経験から、福岡県の交通騒音対策は厚いと感じます。住環境における「音」の重要性はとても大切だと感じます。交通騒音だけでなく、工場作業などの産業騒音、近隣住民同士の生活騒音などへの環境面でのリーダーシップを期待します。
- ・ 工業地帯、PM2.5など、大気汚染が気になります。発令をするだけで他に何もしてない。外にでないよう最低限の対策をとる以外に少しでも防ぐよう、少しでもよくなるよう何か工夫が出来ないかと考え実行の一步をふみだしてほしいと思う。
- ・ 夜中のバイクが物凄くうるさい。
- ・ 川が汚い。

<国際環境協力>

- ・ 福岡県は、関東圏に比較して大気汚染が激しいと感じる。PM2.5の関係は非常に難しいが、地球規模での対策の必要性を感じている。
- ・ 年々、春頃、黄砂に加えてPM2.5の影響で空が真っ白な日が増えている。中国での植林活動や排ガス軽減援助などできないものではないでしょうか。
- ・ 大陸からの大気汚染物質を捉えられるような機械を発明してほしい。
- ・ 中国から飛んでくる黄砂や特にPM2.5など、もっと抗議するべき。また、その対策をもっと行うべきだし他国に行わさせる。

<経済・社会のグリーン化>

- ・ 昼間の太陽光発電と水素利用をうまく組み合わせた次世代の取り組みを是非推進して頂きたい。

- ・ 環境問題に対する機器等も、値段が高すぎる為に取り入れたくても難しい人は多くあるかとおもいます。ですが、環境を対応の機器等が増えているのは凄いとおもいます。

<持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ 市内全体として除草作業が行き届いていない所が増えており、町の景観・美観が損なわれていると感じます。人材不足であれば市民を動員するなどの取組が必要ではないでしょうか。
- ・ 環境問題は認識の差で、取り組んでいる人は多いですが関心があまりない人もおられます。環境問題の重要性をもっと広報された方がいいのではないかと思います。また、地域のコミュニティの取り組みなども紹介されるといいのではないのでしょうか。
- ・ 子供達が参加できる環境活動(海岸清掃、地域清掃、植樹活動、ごみの分別講習など)を福岡県が主催し、広く認知できるようにPRをしてもらえると嬉しい。まずは子供世代から環境問題に興味を持ち、また、環境問題を考えることが当たり前な環境をつくって欲しい。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で開催が難しいですが、福岡県、企業、県民の環境への取り組みについての公開討論会を開いて欲しい。
- ・ 国、県、市町村とテリトリーが分かれているのは無駄な気がする。環境に関しては一丸となって取り組まなければならないと思う。
- ・ 数年前に比べ、環境への取り組みが薄らいでいるように感じられる。アフターコロナ時は地域の小学校・中学校と地域住民によるクリーンの日を設けてのごみ拾いなどの行事をやってはと考える。
- ・ 個人的にSDGsに興味があり書籍を読むなど少し勉強しておりますが、多くの大企業で当たり前に取り組むべき課題として広がっていることに驚きます。一方で一般市民には、[SDGs]という言葉そのものは聞いたことがあっても内容は全く浸透していないと感じていたからです。意識の高い人々だけのものではなく、全ての人間が意識すべきものとして福岡から認知度が上がっていけば素敵だなと思います。

<6> 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

<低炭素社会の推進>

- ・ 「再生可能エネルギーの活用」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「省エネルギーの取組」に対する満足度は、平成 30 年度以降、上昇傾向にあります。

<循環型社会の推進>

- ・ 「ごみの管理・処理」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「資源の有効活用」に対する満足度は、平成 30 年度に大きく上昇したものの、翌年度以降は平年並みで推移しています。
- ・ 「リサイクル」に対する満足度は、令和 2 年度は大きく上昇しています。

<自然共生社会の推進>

- ・ 「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「生物多様性を活かす社会経済活動」「希少種や里山を守る取組」に対する満足度は、令和 2 年度は上昇しています。

<健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

- ・ 「水の汚染」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「住まいの周りの静穏」に対する満足度は、近年は減少傾向となっています。

<経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進>

- ・ 「環境関連技術・産業」に対する満足度は、令和 2 年度は上昇しています。

<持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

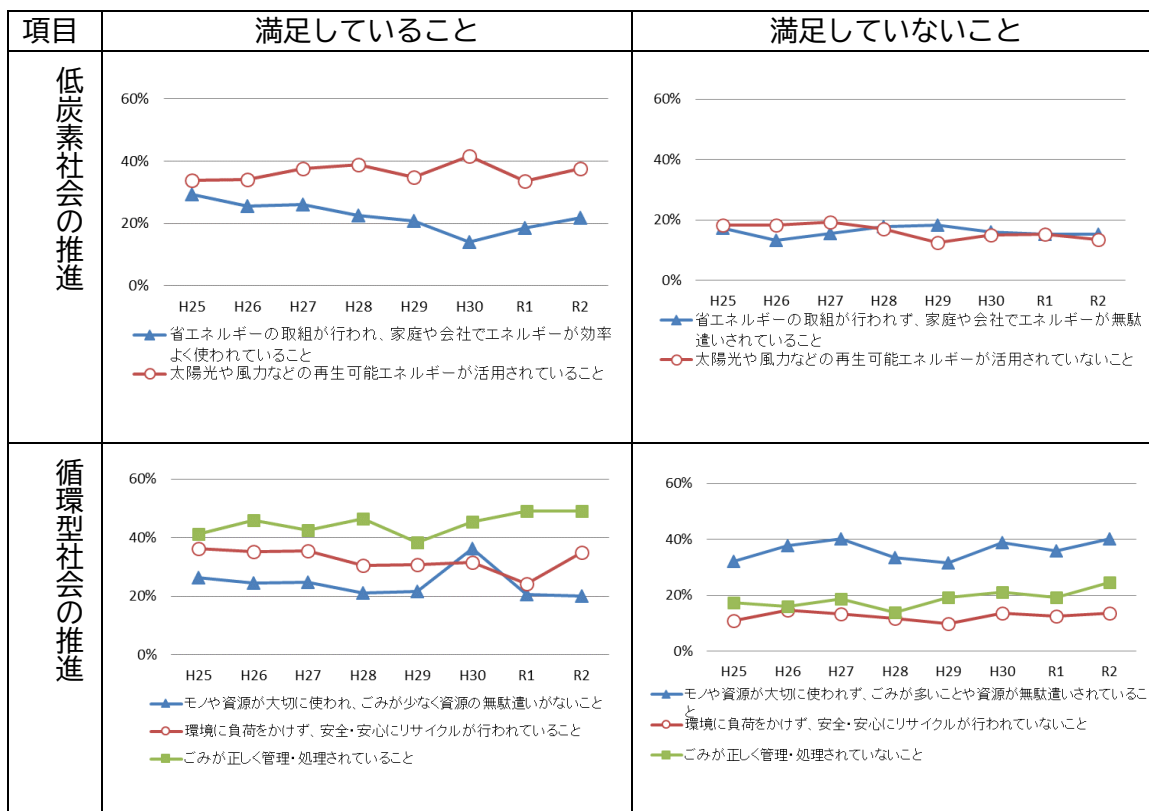
- ・ 「環境配慮行動」「地域づくり」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

一方、満足していないと感じる割合については、「モノや資源が大切に使われていないこと<循環型社会の推進>」や「環境関連技術や産業が発展していないこと<経済・社会のグリーン化>」では上昇しており、「空気や空が汚染されていないこと<健康で快適な生活環境>」では比較的高く推移しています。

これらの項目については、今後の環境に関する取り組みの進め方に活かし、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

注) 県政モニターのグラフは、平成 25 年度～令和 2 年度の推移を表しています。

なお、登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



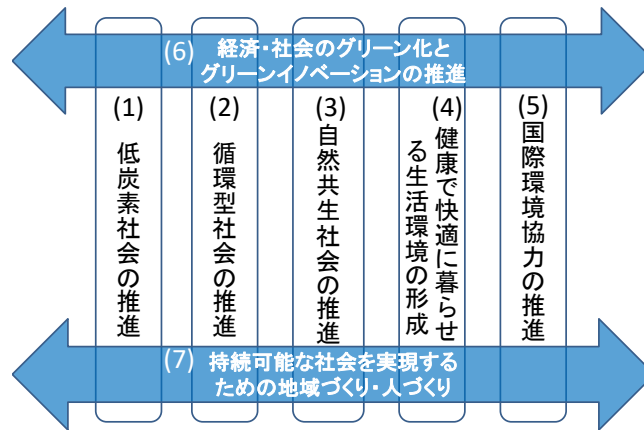
<p>自然共生社会の推進</p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること </p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと </p>
<p>健康で快適に暮らせる生活環境の形成</p>	<p> ▲ 空気や空が汚染されていないこと ○ 水が汚染されていないこと ■ 住まいの周りが静穏であること </p>	<p> ▲ 空気や空が汚染されていること ○ 水が汚染されていること ■ 住まいの周りが静かさが保たれていないこと </p>
<p>経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進</p>	<p> ▲ 環境関連の技術や産業が向上・発展していること </p>	<p> ▲ 環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと </p>
<p>持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり</p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること </p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと </p>

「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」
 （計画期間：平成30年度～令和4年度）

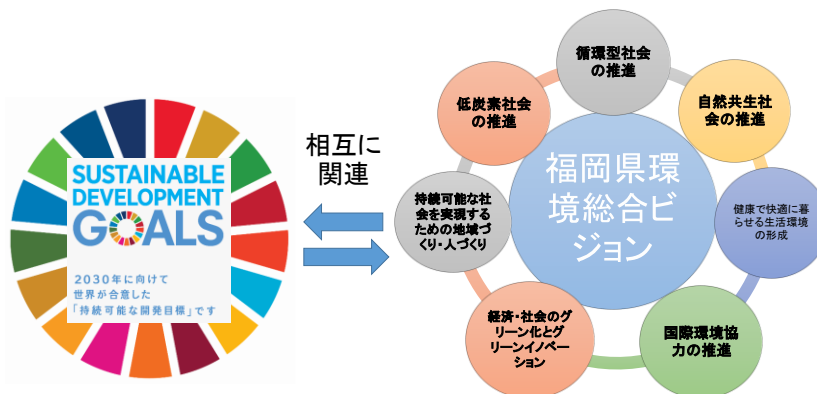
『豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県』
 ～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～

総合ビジョンでは、7つの柱を設定し、柱ごとに目指す姿を示しています。なお、7つの柱は相互に関連しており、全体として持続可能な社会を目指すものです。

7つの柱のイメージ



また、環境総合ビジョンは、環境・経済・社会の3つの側面を調和させつつ、世界を持続的な発展に導くための開発目標であるSDGsの考え方を活用し、分野横断的に課題に取り組むことにより、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指します。



（問い合わせ）環境部 環境政策課
 TEL：092-643-3355
 E-Mail：kansei@pref.fukuoka.lg.jp